

第6学年 音楽科学習指導案

日 時 平成26年10月2日(木) 5校時

児 童 厚岸町立〇〇小学校

第6学年 25名

授業者 厚岸町立教育研究所 音楽部会

1. 題材名 雅楽の旋律に親しもう

教材「越天楽今様」「越天楽」「春の海」

2. 題材について

本題材は、日本の伝統的な歌や和楽器の音色などに親しみ、それらの特徴を感じ取りながら鑑賞したり、表現の工夫をしたりすることをねらいとして設定している。

「越天楽今様」は、数多くある雅楽の中でもっとも広く知られている「越天楽」に歌詞をつけて歌われたものである。そのため、「越天楽」「越天楽今様」共に、題材として扱い雅楽の特徴をつかませていきたい。

「越天楽今様」では、平安時代の貴族社会の優雅な世界など歌詞の内容を理解しながら、歌詞の七五のリズムや旋律の特徴を感じ取りながら雰囲気味わわせたい。

鑑賞教材の「春の海」は、のどかな春の海の様子やかもめが飛び交う様子を表現している。お正月によく耳にする曲であり、日本の伝統的な楽器に触れる曲として鑑賞にふさわしいと考える。この曲は、A-B-Aの形で構成されており、楽曲の変化が理解しやすく、情景を想像したり、箏と尺八の掛け合いを感じたりすることができる。児童がこれまでに鑑賞してきた曲にはない独特の音色や旋律を味わうことができる曲である。

3. 児童について

《省略》

4. 指導にあたって

音楽科の授業では、各学年の指導内容として定められている歌唱の活動、器楽の活動、音楽づくりの活動、鑑賞の活動の4つの活動に毎時間取り組み、少しずつそれぞれの目標に到達できるように指導していきたいと考えている。そのため、毎時間全ての活動に取り組みめるようにそれぞれの活動を短いパートに分け、内容に少しずつ変化をつけながら学習に取り組んできた。それぞれのパートはその時間の中心となる活動に重点を置き軽重をつけて、配分していく。

現在日本の伝統音楽を聴く機会や演奏を目にする機会は大変少ないため、日本の伝統音楽の名前や日本独特の楽器の名前を知っている児童は大変少ない。そこで、本題材では日本の楽器の音色や奏法に視点をおいて鑑賞し、楽器のリズムや間の取り方を模倣させる学習を通して、日本の伝統的な音楽が醸し出す雰囲気や特徴をとらえさせていきたい。普段接することが少ない和楽器であるが、実際に自分が真似て演奏することで西洋音楽とは違う雅楽の特徴を感じられるのではないかと考えている。

本来なら、実際に雅楽の楽器に触れたり、演奏したりすることが望ましいが、和楽器は貴重で高価なものが多く、実際に授業で本物の楽器を用いることは難しい。そこで、自分達の身近にある楽器を和楽器の代わりとして真似て表現することで、奏法などを工夫する表現力の向上に繋がるのではないかと考えた。本音楽部会の「豊かな表現力を高める指導はどうあるべきか」という研究主題に即し、鑑賞して感じたことを再現していくことで、表現力が高められるのかを検証したいと考えている。さらに、グループ活動の中でお互いの演奏のよさや改善点を交流し合う言語活動にも取り組みたいと考えている。

また、実際に本物の楽器に触れられないが真似て演奏することで、「和楽器に触れてみたい。」「和楽器を見てみたい。」という今後の意欲付けに繋がっていくことを期待している。さらに、雅楽が演奏されている時の写真や映像を使い、児童の理解を少しでも深めたい。第1時に鑑賞し表現することで、2時、3時で扱う曲の鑑賞も、さらに雅楽の音色や奏法に注目して聴くようになることを期待している。

5. 指導計画（3時間扱い）

①題材の目標

- 日本の伝統音楽に関心を持ち、それぞれの音楽の特徴を生かして進んで活動に取り組むことができる。
- 日本の旋律の特徴を生かし、歌詞の表す情景を思い浮かべながら表現する。
- 箏や尺八の音色や奏法の特徴を感じ取りながら、楽曲の構造に気をつけて聴く。

②題材の評価基準

| ア 音楽への関心・意欲・態度 | イ 音楽表現の創意工夫 | ウ 音楽表現の技能 | エ 鑑賞の能力 |
|---|---|----------------------------------|---|
| 旋律の動きや歌い方に関心を持ち、表現する学習に主体的に取り組もうとしている。 箏や尺八の音色や奏法に興味を持ち、聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 | 旋律の動きや歌詞の情景を生かした表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の考えや願い、意図をもっている。 | 旋律の特徴や歌詞の情景を生かした声の出し方、歌い方で歌っている。 | 箏や尺八の音色や奏法の特徴を感じ取り、そのよさを味わって聴いている。 和楽器の掛け合いのおもしろさを感じ取るとともに、楽曲の構成、速さの変化などに気をつけて聴いている。 |

③題材の計画

| 時 | ○主な学習内容 ・学習活動 | ◆評価基準 |
|-----------|--|--|
| 1 (本時) | ○雅楽「越天楽」を鑑賞する。 ・映像から楽器の特徴をつかむ。 ・「越天楽」を器楽で演奏して、雅楽の雰囲気味わう。 | ◆日本の伝統音楽の特徴やよさに関心をもち、進んで活動に取り組むことができる。 (関心・意欲・態度) ◆「越天楽」のふしまわしや打楽器の入りのタイミングを聴き取り、雅楽の感じにあった奏法を工夫することができる。(創意工夫) |
| 2 | ○「越天楽今様」を聴く。 ・歌詞の意味を理解する。 ・情景を想像しながら、伸びやかに歌う。 ・器楽と歌を合わせて表現する。 | ◆「越天楽今様」のふしまわしや打楽器の入りのタイミングを聴き取り、雅楽の感じにあった奏法を工夫することができる。 (創意工夫) ◆「越天楽今様」の旋律の特徴や歌詞の情景を生かした声の出し方、歌い方で歌っている。(技能) |
| 3 | ○「春の海」を聴く。 ・箏や尺八の音色や奏法の特徴を話し合う。 ・楽曲の構成がA—B—Aであることに気づく。 | ◆箏や尺八の音色や奏法に興味をもち、聴く学習に主体的に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度) ◆箏や尺八の奏法の特徴を感じ取り、その良さを味わって聴いている。(鑑賞) |

6、本時の学習（1／3）

①本時の目標

- 日本の伝統音楽の特徴に関心をもち、進んで活動に取り組むことができる。
- 「越天楽」のふしまわしや打楽器の入りのタイミングを聴き取り、雅楽の感じにあった奏法を工夫することができる。

②本時の展開

| 学習活動 | 教師の手だて | 留意点 ◆評価 |
|----------------------|------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 和音あてゲームやリズム遊びをする。 | 1. 和音をピアノで弾く。 見本を見せながらリズム打ちを行う。 | 1. 心や身体をほぐし学習意欲を高める。 |
| 2. 既習曲を歌う。 | 2. 出だしの息の吸い方に気をつけて歌わせる。 | 2. 力強い歌になるように息の吸い方に絞って指導する。 |
| 3. リコーダーでふしづくりを行う。 | 3. 児童が真似吹きできるように、範奏する。 | 3. 本時の中心教材「越天」に繋がる旋律も練習させる。 |

| | | |
|--|--|--|
| <p>4. 「越天楽」を聴き、感想を述べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚式場・神社 ・ 日本ぽい。 昔っぽい。 ・ ゆっくりしている。 <p>映像を見て日本の楽器を使っていることを知る。</p> | <p>4. この曲を聴いたことがありますか。</p> <p>どこで聴いたことがありますか。</p> <p>どんな感じがしますか。</p> <p>どうしてそのような感じがするのでしょうか。</p> <p>映像を使って、雅楽について簡単に説明する。</p> | <p>4. 普段児童がよく耳にする西洋音楽との違いにも着目させて聴かせる。</p> <p>◆ 日本の伝統音楽の特徴に関心を持ち、進んで活動に取り組むことができているか。</p> <p>(関・意・態)</p> |
| <p>課題：雅楽の特徴をいかして「越天楽」を演奏してみよう。</p> | | |
| <p>5. 視点をもとに「越天楽」を聴く。</p> <p>6. 「越天楽」に使われている楽器に合わせて、リズム打ちやリコーダー演奏をする。</p> <p>7. グループごとに役割を決めて、練習をする。 (リコーダー、トライアングル、太鼓)</p> | <p>5. いくつの楽器が使われていますか。</p> <p>この楽器は何回鳴っていたでしょう。</p> <p>もう1回聴きます。</p> <p>6. CDに合わせてやってみましょう。</p> <p>7. 日本の楽器の代わりに、リコーダー、トライアングル、太鼓を使ってグループごとに練習をしましょう。</p> <p>楽器をどのように使ったら、本物に近づけられるか考えさせる。</p> | <p>聴取の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演奏されている楽器数 ・ 楽器ごとの音の数 <p>6. 曲の始めの部分だけに限定する。</p> <p>7. トライアングルは音を響かせない。</p> <p>リコーダーはタンギングをしすぎない。</p> <p>たいこは強くたたきすぎない。</p> <p>◆ 日本の伝統音楽の特徴に関心を持ち、進んで活動に取り組むことができているか。</p> <p>(関・意・態)</p> <p>◆ 「越天楽」のふしまわしや打楽器の入りのタイミングを聴き取り、雅楽の感じにあった奏法を工夫することができているか。</p> <p>(創意工夫)</p> |
| <p>8. どんなどころを工夫したのか、発表する。</p> <p>9. 次時の学習内容を知る。</p> | <p>8. 楽器ごとに発表させる。</p> <p>9. 次時の学習内容を伝える。</p> | |